



令和6年度 学校通信

令和7年3月24日(月)

みやまの風NO. 23

糸島市立深江小学校 校長 重富 紀子

(ふ) ふれあう子
(か) 考える子
(え) 笑顔の子



令和6年度修了です。ありがとうございました。

本日は修了式です。子どもたち一人一人の成長がうれしいものです。保護者や地域の皆様方の御理解・御協力のおかげで、素晴らしい環境の中で、教育活動を行うことができましたことに厚くお礼申し上げます。

今後の工事の予定といたしましては、本年10月に管理棟校舎が完成し、12月には、運動場に建設されているプレハブ校舎が撤去される予定です。まだまだ、工事が続きます。安全第一で、教育活動を進めてまいります。ご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、今後とも、子どもたちのサポーターとして、共に歩んでいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、修了式後、子どもたちに教職員の転出者を紹介し、『お別れの会』を実施いたしました。保護者・地域の皆様には、4月の学校通信「みやまの風」で紹介いたします。

学校通信「みやまの風」も、本年度の最終号となりました。

片付けの途中で、10年前に人権同和教育担当者として、広報いとしまに掲載した文章を見つけました。

10年前と全く思いは変わっていないものです。再掲いたします。皆様、ありがとうございました。

こころコラム 「ありがとう」の言葉を ～里親家族、ゆりちゃんが教えてくれたこと～

重富 紀子 (2014.12 広報いとしま:こころコラム掲載)

瀬戸内海に浮かぶ小さな島。ここに私のふるさがあります。私が小学校六年生の時、私の両親は里親になりました。それ以来、私は多くの子どもたちと兄弟姉妹として育った経験があります。専門里親である我が家にやってくる子どもの背景は様々です。それぞれにいろいろなものを背負い、仲間入りをします。その一人であるゆりちゃんは、母親と二人暮らし。母親は病気で、生活していくことの難しさから、小学校四年生で入所し、高校進学にあたり、我が家の仲間となったのです。「声優になりたい」という夢をもつだけあって、さわやかなすてきな声の持ち主でした。しかし、昔ながらのよさが残り、大勢の人が出入りする我が家に驚き、なかなか言葉を発することができない日々が続きました。人との関わりが極端に少なかったゆりちゃんは、どのように自分の気持ちを表現していいのかわからず困っていたのです。人に会う度におどおどしていた姿を今でも思い出します。

大家族での生活は、自由な時間はあまりありません。特に年長者のゆりちゃんは、料理・洗濯・掃除など、全てにおいて手伝わないわけにはいかないのです。出入りの多い家なので、お客さんの接待も日常茶飯事です。葛藤もたくさんあったことでしょう。そんな経験の中で彼女は、自信を付け、さわやかな明るい声で誰にでも関わることができるようになりました。高校卒業を目前にした頃、ゆりちゃんは里親の研修会で体験発表を任されました。彼女の発表の一部が以下のものです。

施設から家庭に来て、大きく違ったのは「叱られること」と『ありがとう』と言われることです。施設では ルールさえ守っていれば怒られることはありませんでした。ところが、ここでは、お客さんへのあいさつの仕方・ご飯のつぎ方・協力の仕方など細かく叱られました。最初は、「なぜ叱られるのか」という思いがありました。その反対に、毎日毎日「ありがとう」の言葉も投げかけられました。どんなに小さなことでも「ありがとう」と言われることで、私の心の中に温かいものが積もっていきました。長い時間かかって、私の心の中に、「ありがとう」が一杯になりました。すると、私の口からも「ありがとう」が自然に出るようになったのです。

日々の生活の中で、ほほえみかけられ、言葉をかけられ、叱られる、そんなことのくり返しの中で家族となります。「ありがとう」を教えることはもちろん大事なことです。しかし、「ありがとう」の言葉は、言わせて身に付く言葉ではなく、たくさんの「ありがとう」をなげかけられた子どもが言えるようになる言葉だということをゆりちゃんから学びました。ゆりちゃんは、今、ケーキ屋の店長として頑張っています。彼女のさわやかなあいさつや接待は、お客さん達の「また来たい」という思いにつながっています。

家族の形態はさまざまです。教育ジャーナリスト中曽根陽子さんは、「子どもが健全に育つ上で絶対に必要なのは、愛することを教えてくれる大人の存在」と言われます。その大人は、家族かもしれませんし、先生や地域の方々かもしれません。一人ではなく、たくさんの人の「ありがとう」が子どもを支えます。自分でできない時は、いろいろな人の手を借り、言葉で伝えることができない場合はほほえみで伝える、それでよいのでしょうか。「自分の事を気にしてくれる人がいる、自分の事を見守ってくれる人がいる」そう考えることは、子ども達の力になっていくことでしょうか。まずは、子どもたちに積極的な関心を向け、たくさんの「ありがとう」を多くの子ども達に届けていきたいと思っています。

有意義な春休みを

明日から皆さんの楽しみにしている春休みです。

① 次の学年に上がるための心と体の準備をすること

② 命を大事にすること

(自転車の乗り方については、特にご家庭でも再度指導いただきますようよろしくお願いいたします)

二つのことを、しっかり守って楽しい春休みを!! 7日元気な子供たちの姿を楽しみにしています。

令和7年度の時制

現在、オーバーカリキュラム(カリキュラムの内容が多く、子どもや教員への負担になっている)が問題になっています。年間の授業時数を見直すよう文科省からの通知もあり、どの学校でも、検討を進めてまいりました。時制について、大きくは変更はありませんが、1年生は、毎週金曜日4限で下校となります(2年生についても4限での下校が年間30時間程度あります)。

下校時間については、

4限…13:45分、5限…14:30分、6限…15:15分

となり、曜日により下校時間が変わります。下校の見守りにご協力いただいております保護者や地域の皆様、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

◆◆◆◆ 令和7年度 4・5月の主な行事予定 ◆◆◆◆

日	曜日	主な内容
~6	日	学年はじめ休業日
7	月	赴任式・始業式
8	火	給食開始(2~6年生)
9	水	入学式準備(5・6年生:5・6時間目)
10	木	入学式9:30開式(2~5年生臨時休業)1年生タブレット接続確認
11	金	委員会活動
16	水	給食開始(1年生)
17	木	全国学力・学習状況調査(国語・算数・理科:6年生)、尿検査一次
18	金	学習参観日、PTA総会、児童下校14:30、尿検査予備日
21~25	月~金	English week
21	月	県学力調査CBT体験(5年生)(国語)
22	火	オンライン保護者面談① (下松末・松末・片山・深江新町・祇園町・湊町・本町・西町)
23	水	オンライン保護者面談② (古家町・深江東町・宮小路堂山・白浜町・塩屋町・淀川・南町)
24	木	オンライン保護者面談③(やよい野・元町・道元) 全国学力・学習状況調査の児童質問調査(6年生:午前)
25	金	オンライン保護者面談④(その他)、心臓検診(1年生)
29	火	昭和の日(祝日)
30	水	避難訓練3時間目(火災)
2	金	ブロック開き・歓迎遠足(お弁当の日)
3~6	土~火	ゴールデンウィーク、3 憲法記念日、4 みどりの日、5 こどもの日、6振替休日
8	木	内科検診(1・3・5年:13:30~)、検尿二次
10	土	土曜授業① 親子活動「海岸清掃」、引き渡し訓練
12	月	振替休業日
14	水	眼科検診(全学年:13:30~)
15	木	学習参観・集会
16	金	体力テスト(シャトルラン)
19~23	月~金	English week
20	火	耳鼻科検診(1・2・3・5年:13:30~)
21	水	福岡県学力調査(5年生:国語・算数)
22	木	体力テスト(ソフトボール投げ)、内科検診(2・4・6年生:13:30~)
26	月	心肺蘇生法実技(6年生児童、教職員、保護者)、プール掃除(3・4年生)
27	火	プール掃除(5・6年生)
29・30	木・金	ふれあい体験教室(5年生:波戸岬)



※ あくまでも予定ですので、年度初めの文書の確認をお願いいたします